

「春日井市立神屋小学校 出前授業」

水土里ネット愛知用水

令和3年12月3日(金)、春日井市立神屋小学校の4年生児童31名に水土里ネット愛知用水の職員が講師として1、2時限目に出前授業を行いました。

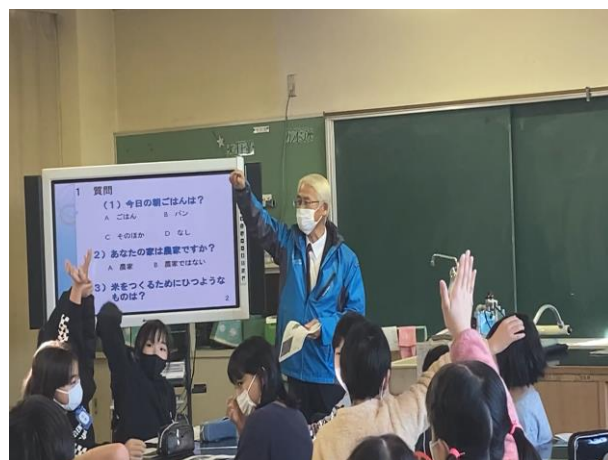
1時限目は近藤事務局長が、春日井市神屋町にある神屋地下堰堤の特色や役割を説明しました。この施設は昭和10年に完成し、地下水を汲み上げる農業用水施設として現在も利用されています。授業の中で4年生のみんなに質問をすると多くの児童が手を挙げて答えようとしており、神屋地下堰堤に関心を持って授業を受けていると感じました。

2時限目は春日井事務所職員が「愛知用水ができるまで」と「愛知用水について」の説明を行いました。「愛知用水ができるまで」では紙芝居形式で愛知用水がどのようにして作られたかを説明し、「愛知用水について」では60周年記念に伴い発行された冊子を使いながら「愛知用水職員の仕事」や「水の大切さ」などを説明しました。多くの児童が真剣な眼差しで説明を聞いており、学ぼうとする意欲が伝わってきました。

今回の出前授業についてのアンケートを行なったところ、内容について多くの児童が「よくわかった」と回答しており、「水を大切にしようと思った。」「愛知用水計画で暮らしが変わったことがすごいと思った。」などの感想をいただき、水の大切さや愛知用水ができてどのような影響を及ぼしたのかをよく理解してもらえたかと思えます。より多くの方に愛知用水について知ってもらうために21世紀創造運動を率先して行いたいと考えております。



伊藤理事 あいさつ



神屋地下堰堤のお話



愛知用水について



愛知用水の歴史のお話